

平成 24 年度第 1 回根室市市政モニター会議【記録】

1 . 日 時 平成 2 4 年 7 月 3 0 日 (月) 午後 6 時 3 0 分 ~ 午後 8 時 0 0 分

2 . 場 所 根室市役所 3 階 大会議室

3 . 出席者 【市政モニター】 11 名

【市 側】

市長、教育長、総合政策部長、総務部長、市民福祉部長、水産経済部長、
建設水道部長、教育部長、消防長、病院事務長

【会議進行】総務部長

【司 会】総務課長

4 . 開会挨拶 (市長)

平成 2 4 年度第 1 回目の開催となる市政モニター会議に、夜間の開催にも関わらずご出席いただきありがとうございます。今年度は 1 9 名の方に市政モニターの委嘱をさせていただいた。

本年度の市政方針に 4 つの重点事項を掲げ、根室市の再生・再興への取り組みを進めている。

第 1 に、「根室再興政策プロジェクトの加速的な展開」。2 年目となる今年度は「産業活性化プラン」、「生活安心・安らぎプラン」、「みらい活力創出プラン」の 3 つについて本プロジェクトに位置づけた施策事業を加速的に推進し、「根室の再興・再生」に向け、全力で取り組んでいく。

第 2 に、「北方領土問題の戦力的施策の推進と強力な返還要求運動の展開」。戦後 6 7 年が経過しようとする中、対岸に位置する北方領土では、ロシア政府の「クリル諸島社会経済発展計画」のもと、積極的な開発を行うとしている。そのような中、先月に行われた G 2 0 ロスカボス・サミットの際の日口首脳会談において、領土問題の議論を「再活性化」させることで一致したことにより、停滞する北方領土問題が具体的に動き出すものと、強く期待しているところであったが、7 月 3 日にメドヴェージェフ・ロシア首相が北方領土の国後島を訪問したことは、根室市民としては当然受け入れられないものである。このことを踏まえ、7 月 6 日に野田内閣総理大臣、玄葉外務大臣、関係国会議員に「北方領土問題の早期解決」を訴えてきた。今後も動向に注視しつつ、緊張感をもって、対応にあたっていきたい。

第 3 に、「市立根室病院の医療体制の充実と経営健全化への取り組み」。市立病院は、市内唯一の公的病院として、救急告示病院・災害拠点病院に位置づけられているほか、地域センター病院として機能と役割を担うことが求められている。このことから、常勤医師や看護師などの医療スタッフの安定的な体制構築が最優先課題であり、今後も北海道や道内外の医育大学、関係機関に連携・協力を要するなど、引き続き、粘り強く取り組んでいく。また、本年度は新病院スタートの年であり、当市の永年の懸案であった市立病院の本体改築工事が年内に完了し、年明けには新病院が開院する。このことを見据え「新病院建設基本計画」、「市立根室病院事業改革プラン」、「経営改善」の 3 本柱に取り組むことはもとより、健康診断の拡充による医業収益の向上、委託業務の業種拡大による経費削減など、病院の経営健全化にも努めていく。

第 4 に、「災害に強いまちづくりの推進」。昨年 3 月 1 1 日に発生した「東日本大震災」は、当市において、花咲港地区に最大 2 . 8 メートルの津波が襲来し、漁業関連を中心に大きな被

害があった。このような中、6月28日に北海道から公表された津波浸水予測は、根室市においても、沿岸地域21点で2.8メートルから24.9メートルの最大水位が示され、これまでの予測を遥かに超えるものとなっている。このため、今回示された内容も含め、更なる防災・減災意識の高揚を図るとともに、市民と行政の協働による地域防災力の向上はもとより、防災関係団体とも十分連携し、今後の防災・減災対策を図っていく。

根室市の人口は6月末で28,883人と減少し、人口問題や財政再建など様々な課題が山積みとなっているが、どの課題もオール根室でことにあたれば打開できるものと確信している。

本日は、市政全般にわたってご意見をいただきたいと思っているので、よろしく願いたい。

5. 座席表により出席者の紹介

6. 以下、会議詳細

旧昭和児童会館の利用について

モニター

旧昭和児童会館を改修し高齢者と障害者の交流施設として、年内に開設すると聞いている。旧昭和児童会館の具体的な利用方法や市民にどの程度開放していくのかを知りたい。

市民福祉部長

旧昭和児童会館は、高齢者と障害者の共生型のサロンとして、8月中旬に入札を予定している。床面積が120㎡程度あり、その半分に現在、月見保育所跡地にある地域活動センターの一部移転や、喫茶室や相談室等を設置し、自由に交流ができるスペースを予定している。現在はバリアフリーとはなっていないが、バリアフリー化や障害者トイレの設置を予定している。

また、旧昭和児童会館は海拔28mの場所に位置しており、災害時には福祉避難所としても利用していく予定であり、そのための必要な資材、備品の整備、備蓄も考えている。検討段階だが、市の専門職員による介護予防や食事の指導、相談支援事業等を実施していく考えである。

移住体験型整備について

モニター

定住移住促進事業の中に含まれている「移住体験型整備」とは具体的にどのようなものなのか。

総合政策部長

移住体験型整備とは、教員住宅を改修して移住体験モニターツアー等の参加者が、数週間から1カ月の期間、滞在していただく住宅の整備を行うものである。また、9月12日から9月14日までの期間に移住体験モニターツアーの実施を予定しており、フットパスや春国岱、北方領土関係などのプログラムを予定している。そのほか定住移住促進事業では、移住促進に係るパンフレット・ポスターの制作、市や道のホームページを活用してのプロモーション活動や誘致活動を考えている。今後は交流人口の促進を目指し、モニターツアー等を実施していきたい。

全天候型の野外イベント会場について

モニター

以前に全天候型の野外イベント会場を作るという動きがあったが、かに祭りやさんま祭りなど

の大規模な野外イベントで、天候に左右されてしまうのはもったいない。大きな屋根だけでもいいのであればいいと思う。

水産経済部長

かに祭り・さんま祭りは根室港を会場に開催しており、不特定多数の人達が来場する。ご指摘のとおり、天候も心配しながら行っている部分もあるが、大規模なイベントであるため、収容といった部分でスペース的にも難しい部分がある。野外の全天候型スペースはあったほうがいいと思うが、建物の容量等の問題もあるので、現在は状況に応じて根室港の市場を利用するなど、工夫していくしかないのが現況である。

みらいのアスリート・アーティスト応援事業について

モニター

根室再興プロジェクト「みらいの活力創出プラン」の中に含まれている「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」の具体的な中身を知りたい。

教育部長

「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」は、小中学生の学校教育活動以外の活動である文化活動やスポーツ活動に対し、助成を行う事業のことであり、全道、全国大会に出場するスポーツ、文化活動への助成制度として考えている。全体事業費の2分の1を助成する活動を行っており、今後は対象を高校生まで拡大したいと考えている。

サンマフライの給食提供について

モニター

根室市と東海大学海洋学部との共同研究によって作られた学校給食向けのサンマフライの給食提供は行われているのか。

水産経済部長

サンマフライは現在、試食段階である。今年の3月に市内の全小中学校で試食を行い、小学生には好評だったが、高学年になるに従って味がいまいちといった意見もあり、東海大学の方からも焦らず、じっくりといいものを作っていった方がいいという指導もあり、今年度も引き続き、東海大学の学部長の指導をいただきながら、市民に愛されるものを作るようさらに研究を深めていきたい。

モニター

8月19日に第3回軽トラねむろ名産市が開催される。その中で市民から創作のおかずを募集して行う「根室おかずコンテスト」といったイベントの開催を予定している。このコンテストにサンマフライの試食品を提供の検討していただければと考えている。是非検討していただきたい。

モニター会議終了後、水産経済部長とモニターとの間で協議が行われ、軽トラねむろ名産市へのサンマフライの試食品の提供を行うことで合意した。

ニムオロ体験学校について

モニター

ニムオロ体験学校は、10年程前はもっと大々的に実施していたと記憶している。現在行って

いる体験学校は、日程や人数なども小規模になっていて、下火になってきていると感じた。予算の関係や少子化の影響などもあると思うが、継続して多くの参加者が集まるように工夫してほしい。

教育部長

ニムオロ体験学校は今回7月27日～30日までの3泊4日の日程で、別当賀の夢原館を宿泊の拠点に実施した。今年の主な活動として落石ネイチャークルーズ、化石発掘体験、燻製作りを行った。近年の参加人数は1桁であったが、今年は14人の参加があり、参加人数はまた伸びてきている。実施メニューは、参加した子供達や職員の意見などの参考にし、毎年思考を凝らして行事に反映してきている。根室の貴重な自然や様々な資源等を体験し、学びの場として活用してもらいたい。今後も1人でも多く参加するような企画を立案していきたい。

災害時の防災について

モニター

震度6・7の地震があった場合、避難所に避難してきた市民の家族の安否確認等ができるような体制づくりは考えられているのか。

総務部長

市内には避難所・避難場所合わせて76カ所あり、地震・津波等で避難するとなると主に半島地域が対象となる。避難時の家族の安否確認については、NTT等通信会社各社で行っている災害用伝言ダイヤル等のサービスで、家族の安否確認ができるシステムがある。また、半島地域では電話もつながらない地域も多いので、衛星携帯電話を避難所に設置している。

各避難所には必ず職員が配置され、職員から避難している方の情報が送られ、本部で情報がまとめられるといった体制を取っている。備蓄品については、これまでは毛布など簡易なものであったが、昨年の東日本の震災を受けて、発電機、カセットコンロ等も配備し、食料についても近隣の商業施設と契約しており、さらに今年度中には各避難所にアルファ米等の長期保存食品を備蓄することとなっている。

交差点の一時停止の位置について

モニター

総合文化会館前の交差点の一時停止の位置はおかしいのではないかと。車が凄いスピードで通行していて、温水プールの利用者や登下校する学生が横断歩道を渡れない。一時停止の位置を逆にした方がいいのではないかと。

市民福祉部長

一時停止や交通標識や横断歩道は、公安委員会の管轄である。

モニター

警察では市道は市の管轄だと回答があった。

市民福祉部長

市道だからといって市が独自に標識や道路標示などを設置することはできない。

モニター

警察からは市の方から要望が上がってこないと動かないと回答があった。

市民福祉部長

市役所の交通市民生活担当が、市民や町内会等の団体からの挙げられた要望に基づき、その要望を調査したうえで、公安委員会に毎年要望を行っている。要望がすべて通るわけではないが、

適切に市民からの要望を伝えている。

公共施設の利用料金について

モニター

温水プールや老人センターなど、根室市の公共施設は70歳になると施設の利用料金が無料になる。高齢者の中には、無料で利用することを嫌がる人もいる。100円でも50円でも利用料金を取ってもらいたい。

教育部長

温水プールの利用料金が無料である理由として、市全体の施策でもあるが高齢者施策的な要素がある。利用料金については市の体育施設全体の中で判断しており、また、そういった意見も届いている。現在、シーズン券の導入等も考えており、今後のあり方を含めてアンケート調査を市民、利用者に対して投げかけている。また、パークゴルフ場についても意見の集約を検討している。現行体制を維持していくのか、新たな料金体制の方がいいのか等を含め、検討していきたい。

市民福祉部長

老人センターの利用料金も様々な要素があるが、元気なお年寄りが増えることによって介護負担は減り、介護だけではなく後期高齢者の国民保険料などの医療費も減る。そうした観点から積極的に老人福祉センターを活用していきいきとした生活を送り、元気なお年寄りになっていただくため、誰もが利用しやすいよう無料となっている。

モニター

温水プールを利用する若者の利用料金が高い。高齢者にも少し負担してもらい、若者の料金を下げるか、回数券を多くした方がいいのではないか。

教育部長

そうした意見も上がっており、回数券を多くするといった案も出ている。そうした部分も含めて検討していきたい。

モニター

パークゴルフ場を利用している人達も少しでも払いたいという気持ちを持っている。

教育部長

様々な意見があるのは承知している。無料に対して抵抗が強い方や、無料を継続してほしいという方もいる。いずれにしても調査を行い、市民の意見を汲みながらパークゴルフ協会、一般業者等も含めて検討していきたい。

いじめ・生活保護について

モニター

全国的に話題となっているいじめに係る自殺の問題や、生活保護受給者の不正受給者等に対して根室市ではどのような対応を行っているのか知りたい。

市民福祉部長

札幌市での孤立死の事件が薄れてきているが、札幌市の生活保護件数というのは非常に多く、職員の手が回らない、実態を把握が難しいというのが札幌市の現状であり、近年、生活保護を受ける方が増加傾向にあり、札幌市に限らず、他の市町村も手が回らないのが実状である。根室市も例外ではなく、1人の担当者が担当する人数は80人が目安となっているが、現在、担当者1人あたり88人まで増えてきている。手薄な状況になることを避けるため、適正に業務にあたれるよう人事当局に増員の申し出を行っている。また、窓口へ相談に来た方に対しては、生活保護申請

書を渡している。また、相談に来た方の相談内容については必ず記録を取り、内部決裁を行っているので、「相談にいったが何も対応がなかった。」というケースは根室市では起こらない。

また、生活保護受給者の不正受給の件も色々な形で市役所に情報が寄せられている。プライバシーの侵害にならないように気を配りながら確認を行っている。他市のようなケースは根室市では起こらないと考えている。

教育部長

いじめによる自殺の問題だが、根室市では学校の校長会等と密に連携を取り合い、もしいじめを受けている生徒がいれば最悪のケースにならないような体制づくりを行っている。また、根室市子どもいじめ相談室も開設しており、相談員等が対応する体制を取っている。教育現場に限らず、社会教育の分野もそうした対応を行っている。先生一人の対応ではなく、全体の対応の中でお互い孤立しない体制を取りながら全体で協議しつつ取り扱っている。

また、学校の中で暴行等の著しい行動に対しては、場合によっては出席を停止するといった厳しい処分を取りながら対処していきたい。

市営球場等の整備について

モニター

根室市の市営球場は、他の町と比べるとお粗末な感じがする。ソフトボール球場を含めて整備をしてほしい。

教育部長

野球連盟からボランティアに近い形でバックネット、グラウンド整備も含め、協力しながら整備を行い、毎年、少しずつ補修を行っているが、根本的な解決とはなっていない。新たなものを作るとなると高額の事業費がかかることになり、教育委員会としては、現在、学校施設の耐震化の部分でかなりの事業費がかかっているという要素もあるので、財源の確保など様々な事を考慮しながら着手できればと考えている。次期総合計画では組み込みたいと考えている。

市立根室病院周辺の道路整備について

モニター

新しい市立根室病院の完成に伴い、その周辺の環境整備が行われることを期待している。現在、工事業者の車が駐車している場所は、雨が降るといつも水が溢れる状況になっている。建設工事が終わった後にその道路も整備してもらいたい。

建設水道部長

市立根室病院周辺の道路整備については計画しているが、今ご指摘のあった道路については、現段階では計画に含まれていない。

根室公園のひょうたん池の整備について

モニター

根室公園のひょうたん池の水は、水の流れがなく異臭がする。整備または、においを取り除くことはできないのだろうか。

建設水道部長

数十年前から指摘されており、異臭の原因はやはり水の流れがないことが一番の原因である。現在ポンプアップして水を循環させているが、やはり水の流れが悪い。改善できる施設の建設等を検討している。

モニター

水の流れがないのであれば池を埋めてしまってはどうか。

建設水道部長

そういった意見も含め検討していきたい。

厚床会館の設備について

モニター

厚床の地域会館では、スポーツ活動や法事、葬儀等に利用されているが、葬儀でそのまま宿泊する方から入浴設備はないのかと聞かれる。厚床には旅館もないに等しく、銭湯などの入浴施設もない。シャワー等の設備を設置してほしい。

市民福祉部長

厚床の地域会館を利用して葬儀等を行っていることは把握していたが、入浴設備についての要望については把握していなかった。地域の方と協議し検討していきたい。

パークゴルフ場の設備管理について

モニター

他の町のパークゴルフ場はきれいに管理が行き届いている。根室市のパークゴルフ場も管理運営費として利用料金を取り、パークゴルフ場をきれいに管理してほしい。

教育部長

他の町と同様に根室市でも芝刈り機を導入し、芝刈りも含め整備を行っている。ご提案いただいた意見も含め、市民へのアンケートを行って検討していきたい。利用料金を取る場合は、管理費用として充てる。利用料金のあり方を体育施設全体で検討していきたい。

市立病院の患者の呼び方について

モニター

市立根室病院で患者の方を呼ぶ時に「～様」と呼んでいる。「～さん」でいいので、言葉などの形だけではなく、心のこもった対応をしてもらいたい。

病院事務長

ご指摘のとおり呼び方に関わらず心がこもっていないといけないと思う。昨年2月に新病院の開院に向けて入院患者の方、一般市民など3,600人を対象にアンケート調査を行った。看護師や医師、事務職も含め「患者の方あるいはご家族に対する接遇」という部分に対して多くのご意見・ご指摘を受けた。病院は医療サービスを提供する「サービス業」であるという認識であり、患者等に対して笑顔や正しい言葉遣いはできているか、心はこもっているのかなど、今年の5月に職員に対してアンケートの総括として病院長からお話しがあつた。職員一同このことを胸に置きながら患者の方、ご家族の方に接していきたい。呼び方については「様」から「さん」に戻すということはできないが、ご指摘いただいた「心のこもった対応」といった部分を職員に対して伝えていきたい。

廃校となった学校施設の再利用について

モニター

少子化等の影響により学校の統廃合が行われるが、廃校になった学校を利用し、介護施設や資

格取得の専門学校等に転用することはできないだろうか。

教育部長

根室市で資格を取るとなると通信教育もしくは独学で勉強するしか方法がない。高校の話になってしまうが、現在、市内の高校2校の存続をどうするかという問題があり、総合学科タイプや単位制も選択肢として挙げられ、将来的な高校のあり方を検討している。検討していく中で地域の声を活かしていくことが必要であり、お話しにあった資格取得の部分では、他の地域でも福祉や衛生、調理などの学科づくりを行っているところもあり、高校問題の一環の中の一つの要素、選択肢として考えられる。

市民福祉部長

根室市では6月末時点で人口が2万8000人となり、少子高齢化が進むペースが速く、平成26年には、高齢化率が30%台にいくのではと予測されている。日高の方でも学校を転用しているところはあるが、学校はバリアフリーになっていない、障害者トイレがないなど、色々な問題があり、また、鉄筋コンクリートの建物が多く、これを介護施設に転用すると木造の平屋で建てるよりも改修費の方が高くなる。このことから学校を施設に転用することは現在考えてはいない。

また、はまなす園に増床を依頼し、平成25年4月から36床を増床することとなっており、増床にあたって新たに20名の介護従事者の募集を行っている。現在、8名を採用しその中で有資格者が半数である。はまなす園では高校生の体験実習を実施し、高校卒業後に務めてもらい、働きながら資格を取ってもらおうとして考えているが、就職する方がいないというのが現状となっている。介護の基本としては在宅介護が基本なので、施設ができればいいという訳ではないが、在宅についても医師が不足していることから24時間体制での介護が郡部へ行くと難しい状況であり、その辺を解消できるように方法を考えていきたい。

モニター

どうしたら介護従事者の給料を上げることができるのか。

市民福祉部長

現在の介護医療制度の中では、介護従事者の給料というものは大変低い水準となっている。これは介護保険料の問題があり、介護従事者の給料を上げると介護保険料も上がることとなる。根室市は1カ月の介護負担金の平均額は、北海道で2番目に安い3,700円であるが、その理由として他の市町村よりもサービスを提供できないという考えによるもの。根室市での介護従事者の給料水準は、札幌市の介護従事者と比べて高いが、それでもその職業に就く方がいない。

奨学金制度について

モニター

高校卒業後、資格を取得して根室に戻って働くといった人達を支援する奨学金制度はないのか。

市民福祉部長

修学資金制度については従来、医療技術者（看護師・レントゲン技師等）については、制度が整備されている。今年度からは医師を目指す方に対しても修学資金制度を開始しており、月額30万、入学一時金100万の修学資金制度を作っている。現在1名の方が制度を利用している。

また、介護福祉士、ケアマネージャー、歯科技工士を目指す方からも要望があり、来年度の予算に組み込んでいく方向で制度案を製作している。財政課とも調整を行い、制度強化をしていき

たい。

西浜墓地の石粉について

モニター

西浜墓地の石粉が設置されている場所が変わっていてお墓に運ぶまで大変苦労した。石粉の設置場所を数カ所に分けるなど、設置場所を考えてほしい。また、墓地周辺の柵を外してもらえるだけでも運びやすくなるので、そういった配慮もお願いしたい。

市民福祉部長

配慮いたしたい。また、設置場所についても場所を来年度から数カ所に分けて対応したい。また、設置場所についても具体的に教えていただければ、できるだけ要望に沿う形で対応したい。

モニター会議終了後、モニターから石粉の具体的な設置場所の要望を受け、平成 24 年 7 月 31 日電話にて、担当課から今回の要望について来年度からの石粉の設置場所を説明し、モニターから了承を得た。

モニター

設置されている砂を大きな缶に詰めてトラックで運んでいる人がいたが、本当に墓地に利用するために運ばれているのか疑問を感じた。

市民福祉部長

盗砂については、職員が常時その場所に張り付いていられる訳にもいかないなので、市民の常識、良心に任せたい。

歩道の整備について

モニター

共立病院前の歩道の一画が舗装されていない。放置しておくとも草が 1 m 2 0 ~ 3 0 cm まで伸びる。簡易舗装でもいいので検討してほしい。

建設水道部長

舗装となると、抜本的に改良しなければ舗装しても凍上などですぐに傷んでしまう危険性があるので、その一部だけを舗装するということはできないので、その点は了承願いたい。

7. 閉会挨拶（市長）

長時間に渡り貴重なご意見などをいただき、ありがとうございました。次回の開催は、来年 2 月を予定していますが、市政モニターの任期は 3 月末までとなっている。モニター会議に限らず、電話でも直接でもよろしいので、いろいろなご意見などをいただきたいと思います。本日はありがとうございました。